



Saito Archaeological Museum of Miyazaki Prefecture



西都原考古博物館開館20周年記念特別展

海を越えたヒト・モノ・ココロの交流史

展示会Ⅲ

び

ちから

ジュエリー

美と権の装身具

玉が映した宮崎の古墳文化



2025 1.18 SAT 土 ▶ 3.23 SUN 日
(令和7年)

関連講座 要申込

「玉からみた宮崎の古墳文化－海を超えた交流・玉を飾る人びと－」

【日時】令和7年2月9日(日) 午後1時30分から午後3時まで

【会場】西都原考古博物館 2階セミナー室 【講師】藤木 聡氏(宮崎県埋蔵文化財センター)

観覧無料

宮崎県立 西都原考古博物館
Saito Archaeological Museum of Miyazaki Prefecture

〒881-0005 宮崎県西都市大字三宅字西都原西5670番
TEL.0983-41-0041 FAX.0983-41-0051
<https://saito-muse.pref.miyazaki.jp>

開館時間：9時30分～17時30分(展示室入室は17時00分まで)
休館日：月曜日(国民の祝日と重なる時は翌日)
国民の祝日の翌日(休日に当たるときを除く)

西都原考古博物館開館 20 周年記念特別展
海を越えたヒト・モノ・ココロの交流史

展示会Ⅲ

び ちから ジュエリー
美と権の装身具
～玉が映した宮崎の古墳文化～

1 万年以上のはるか古より、人々を魅了してやまない装身具としての「玉」。
古墳時代の「玉」はそれ自体の美しさとともに、アクセサリとして着飾ることで当時の社会的地位や役割を示すステータス・シンボルでもあり、「美」や「権威」を示すアイテムでもある。
今回の展示会では、これらの「玉」が映す、きらびやかな世界に秘められた当時の社会の成り立ちや繁栄の様子、宮崎の古墳文化の特質、海を介したヒト・モノ・ココロの交流を読み解く。

1 古墳人と装身具～玉を身につけた埴輪～

- ・人物埴輪(新田原58号墳[百足塚古墳]/新富町教育委員会)



新田原58号墳[百足塚古墳]
出土人物埴輪

2 地位や権威を示す玉～宮崎の古墳文化～

- ・ガラス製丸玉、緑色凝灰岩製管玉(兄屋根塚古墳/西都市教育委員会)
- ・ガラス製玉類、翡翠製勾玉、碧玉製管玉(西都原111号墳/当館)
- ・ガラス製玉類、瑪瑙製勾玉、水晶製切子玉(西都原202号墳/当館)

3 国際色豊かな美しい玉～海を渡ってきた玉～

- ・トンボ玉(北中6号地下式横穴墓/宮崎市教育委員会)
- ・天河石(アマゾナイト)製丸玉
(蓮ヶ池46号横穴墓/当館)
- ・雁木玉(銭亀塚古墳/当館)



銭亀塚古墳出土雁木玉



西都原111号墳出土玉類(3連)

関連講座

要申込

「玉からみた宮崎の古墳文化
～海を越えた交流・玉を飾る人々～」

2025(令和7)年2月9日(日) 午後1時30分から午後3時

講師:藤木 聡氏(宮崎県埋蔵文化財センター)

会場:西都原考古博物館 2階セミナー室(予定)

体験講座

要申込

「玉を作る」

2025(令和7)年2月16日(日)

会場:西都原考古博物館 古代生活体験館

ご案内図

